

# 地域福祉推進感謝の集い

～いつもありがとうございます～

鎌倉市内で福祉活動に尽力された方々の功績を讃えるとともに、その福祉の輪を広げることを目的とし、去る11月9日、鎌倉市福祉センターで開催されました。

## 開会

弦楽四重奏 かまくら5姉妹(鎌倉交響楽団員)

メンバー  
ヴァイオリン 中村 順子 ピオラ 松村 紀子  
小原 治子 チェロ 射場 寛子  
キーボード 松木 祐子



男性ボランティアグループ“珈琲野郎”の活動風景  
会場全体がコーヒーのいい香りに包まれ、  
式典の雰囲気盛り上げました。

功労者表彰 23名14団体の方々表彰されました。おめでとうございます。<敬称略・順不同>

## ●特別表彰

民生委員・児童委員として20年以上在職  
小川和治、石井直樹、後藤紀代子、宮川忠男

ボランティア活動を20年以上継続  
古賀みね子、山内公子、小林ミツエ、石金玉枝、横山佐千子

## ●一般表彰

民生委員・児童委員として10年以上在職  
吉澤一子、高野弘二、木藤義栄、中田利男、蒲美保子、秋林邦子、大塚真理子

保護司として10年以上在職  
黒澤全紹、内海直和

ボランティア活動を10年以上継続  
おもちゃとしょかん「たんたん」、グループ芽、日本語COSMOS

社会福祉事業に対し労力的な援助協力  
小林郁子、山田久子、三宅和佐子、坂本さちよ

福祉活動振興基金に多額の金円を寄付  
大塚ちか子、生活協同組合コープかながわ鎌倉市エリア会、神奈川県自転車商協同組合鎌倉支部、ウェルフェアダンス鎌倉、NPO法人神奈川45ダンス連合、鎌倉45アマチュアダンスサークルチャリティ連合、鎌倉シニアゴルフ友の会、成就院、株式会社ニュー・トーヨー、鎌倉学園生徒会

市福祉センターに多額の備品を寄贈  
鎌倉婦人子供会館

ボランティア活動のために多額の金円を寄付  
親切会関東支部



# ふくしコラム 16

地域包括支援センターより、今回は大船地区の『地域包括支援センターふれあいの泉』からです。

地域包括支援センターでは、地域にお住まいの方を対象に、認知症について理解を深め、認知症の方やそのご家族を支えるために「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

講座の内容は、認知症の症状や認知症の方への関わり方について学び、私たちにどんなことができるかなどを話し合います。参加された方々から、「優しい気持ちで接することができると思います」「対応がわからなくて苦労した経験がありました。受講する機会を改めていけばよいと思いました」「サポーターの必要性を強く感じ、地域の思いやりも大事だと思いました」などの感想があります。

自治会や活動団体、ご友人同士など様々なところから講座の依頼があります。その他にも、介護保険の話を聞いてみたいなどのご希望がありましたら、お近くの地域包括支援センターにご相談ください。



相談は窓口・電話のほか、訪問相談も行っておりますのでお気軽にご相談ください。

地域包括支援センターは各行政区に1か所ずつ設置され専門職員(主任CM、保健師・看護師、社会福祉士)が配置されています。下記に紹介させていただきます。

鎌倉地域	地域包括支援センター	鎌倉市社会福祉協議会	電話 (61) 2600
腰越地域	地域包括支援センター	聖テレジア	電話 (38) 1581
深沢地域	地域包括支援センター	湘南鎌倉	電話 (41) 4013
大船地域	地域包括支援センター	ふれあいの泉	電話 (43) 5977
玉縄地域	地域包括支援センター	ささりんどう鎌倉	電話 (42) 3702

# 障がい者地域作業所からの活動・作品紹介

今回はここ

地域作業所 ぶどうの木

ぶどうの木は、設立から16年が経過した知的障害者の地域作業所です。

1粒1粒が寄り集まって出来ている1房のぶどうから、田所前所長がこの地域作業所に「ぶどうの木」と名づけました。毎日、約10名の所員と職員やボランティアが家庭的な雰囲気のなかで機織りや版画制作など製品づくりをしています。



一步入ると、版画で作ったポストカードや手さげ袋などがきれいに陳列されています。



この機織りで作ったマットは、全て所員のお手製でなんとも温かみがあります。



入口はオープンで出入り自由です。お気軽にどうぞ。

ワークショップを開催します!

16周年フェア  
「ぶどうの木」って何しているところ?

- 無料体験教室 機織り、リース作り
- 格安にて製品販売

どうぞお気軽にお越しください。

日時 平成22年12月17日(金)  
10:00~15:00

場所 地域作業所「ぶどうの木」

住所 鎌倉市梶原1-1-12

電話 0467-47-0661

## ぶどうの木から一言

日頃から地域にとけこんで活動したいと考えています。地域住民の方々に、ご理解とご協力をいただくとともに、地域住民の方々にとっても社会貢献・ボランティア活動の場として活用いただけたらうれしく思います。

